

[<](#) [>](#)

00:00 ~

【暗誦詩人： ?と其の弟子】

(Milos, the blind poet and his disciple) [ 1 ]

「遅えぞジジイ、置いてくぞ」 Cv : ゆかな

「ほっほっほっほっほ...」 Cv : Jimang

「言の葉を操り森羅万象を詠う」

「詩とはそもそも神の御業じゃ」

「エレフ、創世の三楽神を知っておるか」

「ほっほっほっほ...」

「 $\mu$ ??(Rythmos, リスモス)、 ? ?(Melos, メロス)、 ?  $\mu$  ? (Harmonia, ハルモニア)の三神じゃ」

「そんな一度に言われても覚えらんねえよ.....」

「ほっほっほっほ...」

00:47 ~

「万物の創造主たる母なる者.....」

「リスモスはミラ、メロスはモイラと呼んだそうじゃ」

「前者はパイロン、後者はアルタラーイコンと呼ばれ」

「それこそが言の葉の起こりと言われ、ごほっ、ごほっ.....」

「大丈夫かい爺さん？」

「ああ.....」

「今日はこのあたりで休もうか」

「はあ...ほっほっほ...」

天 そら  
運命 かぜ

「あれぞ...お主の星じゃ.....」

故郷よ ? ? (アルカディア)

03 : 11 ~

「ああ...父様...母様...！」

「気を落とすでないぞエレフ、

わしはこの先、雷神殿(ヴロンディシオン)に行こうと思うておる、

師弟ごっこは此処で終いじゃ。」

「お師匠！」

「さあ、お立ちなさい友よ。お主は、お主の地平線を目指して！」

03 : 39 ~

「エレフ、困ったときはレスボス島を訪ねなさい」

「わしの旧知の友が力になってくれるじゃろう」

「マケドニア、トラキアは今危険な情勢じゃ」

「戦を避けるには海路に行くが良いじゃろう」

「友よ、己の信じた道を行きなさい。死すべきもの、我は詠おうぞ、

エレフセイア...愛すべき友を...戦いの詩を...」 [ 2 ]

04 : 48 ~

「おい知ってるか？アナトリアの武術大会の覇者」 Cv : 中村悠一

「弓の名手、オリオンだろ？」 Cv : 中村悠一[2役]

「そう、そのオリオン。何と蝕まれし日の忌み子だからって捨てられた王子様だったらしいぞ。」

「へえ、世の中一体どうなってるんだか。」

「その真意は、

「"Moiraのみぞ知る" 」「"ってか?"」

1 :

Milosはアメリカ英語の文脈で「まいろす」と発音されている。  
discipleは"弟子"の意で、「ディサイポォ」と発音されている。

2 :

エレフセイア = (ELEFSEIA)はブックレットに絵が登場する【叙事詩】の表紙にあるタイトル。ギリシャ文字では (Eleuseia)か。

## コメント

名前:

コメント:

投稿

[すべてのコメントを見る](#)

- 歌詞カードには載っていませんが、歌詞サイトを見たところ4:48 ~ の会話はどうも【港を賑わす風の噂】と記載されているようです。  
-- (名無しさん) 2010-12-04 02:04:33
- 「愛すべき友を…」というより「友よ…」じゃないでしょうか？  
しっくりくるし、じまんぐ補正(?)を考えると…。 -- (名無しさん) 2010-06-29 21:08:38
- エレフセイア...愛すべき友を...戦いの詩をのところ  
エレフセイア...愛すべき友の、戦いの詩をに聞こえます。  
たぶん意味的にもしっくりくると思うんですけど・・・  
-- (名無しさん) 2009-11-21 21:49:44
- 『まにま』と読むんですよ～。 -- (ななしろう) 2009-08-17 16:29:16
- 天の隨に～の 隨の読み方がわからないのですが、ルビを載せていただけますか？ -- (ななし) 2009-08-17 16:01:26
- 歌詞にない部分ではないんですが、カラオケで「聖女を訪ね」の後ろの「復」を「ふく」と読む方が案外多いんですが、一応ルビとして「また」と、ここに載せた方が良いのではないかと思います。 -- (ななし) 2009-05-29 00:21:12
- 「 (エレフ) 」と云うのはギリシャ語で「自由」と云う意味で、  
「 ? (エレフセリア) 」と云うギリシャ語にも「自由」と云う意味が有

るので、  
「エレフセイア」では無く「エレフセリア」なのかも知れません。 -- (名無しさん)  
2009-04-04 00:02:18

- 「言の葉を操り」のところが、「言の葉を愛する」に聞こえたのですが、聞き間違いだったらすみませんm(\_ \_)m -- (爪) 2009-01-28 18:31:15
-